

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要項」

1.	役職	助教
2.	人数	1 名
3.	配属予定部署	宇宙科学研究所 太陽系科学研究系
4.	就業場所	JAXA 相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1） ＜ 変更の範囲:人事異動、組織改編等により業務の実施場所が変わる場合に機構が定める場所、機構規則に基づきテレワークを行う場合はその場所 ＞
5.	採用予定日	2026 年 9 月 1 日以降なるべく早い時期
6.	契約期間	期間の定めなし
7.	試用期間	採用された日から 6 月間
8.	職務内容	太陽系科学にかかわる研究・開発および大学院教育
9.	職務内容（詳細）及び求める人物像	JAXA 宇宙科学研究所・太陽系科学研究系では、「ダイナミックに変動する太陽圏システムの仕組みと影響を理解し、太陽系システムの過去から将来に渡る変遷を知ること」を目指す太陽圏システム科学と、「太陽系形成過程を物証に基づいて明らかにするとともに、太陽系における惑星材料物質の進化・移動過程を探る」ことを目指す惑星科学を、衛星・探査機データに基づく観測的研究、関連する理論的研究とそれら実現するための探査計画の企画と遂行、及び、新しい飛翔体搭載科学機器の開発を大学や所外の研究機関と連携しながら実施することで推進しています。 この中で、観測装置を衛星や探査機に搭載して、調べたい場所で観測を行う「その場」観測については、過去からの積み重ねと多くの実績を持っており、将来に向けて鍵となる新しい飛翔体搭載科学機器の開発を継続的に進めています。特に、「その場」観測で荷電粒子の計測を行う技術は世界の最先端レベルにあり、現在ではその技術を応用することで惑星表面物質の「その場」質量分析を行う惑星探査用質量分析器の開発にも研究開発の場を広げています。 惑星探査用質量分析器を含む、飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器は、将来の惑星探査と太陽圏システム探査で共通に必要なとされる観測装置であり、今後わが国でも推進すべき月、火星をはじめとする重力天体への着陸探査においても天体の進化の歴史や、惑星を構成する物質の起源などの解明すべき主要なテーマに対し、大気や表面物質の元素組成、同位体存在比などの基本的な情報をもたら

	す重要な観測装置になります。そこでは質量分析器自体の開発に加えて、惑星大気観測用には大気取り込み部の新たな開発や、着陸探査用には、有機物その場分析を含む不揮発性物質分析のための前処理部の新たな開発などの開発を合わせて実施する必要があります。 今回募集する助教には、「その場」粒子計測をキーワードに、惑星探査と太陽圏システム探査の双方にとって我が国のキー技術となり得る搭載用「その場」粒子計測装置開発の中心となり、同時に将来の太陽系科学探査計画の立案・実行に中心的な役割を果たすことを期待しています。 さらに当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かして JAXA 内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。 今回公募する助教の職務内容は以下の通りです。 - 科学衛星や探査機などの飛翔体搭載用「その場」粒子計測装置の基礎開発から搭載までの全フェーズにわたる開発を他大学の研究者や宇宙研工学と共に、メーカーを含む機器開発グループを主導することにより実施すること。 - 飛翔体搭載用「その場」粒子計測装置の開発において必要となる地上実験設備の構築を主導して実行すること。 「その場」粒子計測装置を用いた、将来の太陽系科学探査ミッションの立案・実行に積極的に参加すること。 このような業務に鑑み、今回募集する助教は、少なくとも次の条件を満たすものとします。 - 地球を含む惑星探査における「その場」観測に関する学識を有し、かつ、実験室用または人工飛翔体搭載用の質量分析器を含む粒子計測装置、または関連する装置を開発した経験を有すること。 - 装置開発を行うために必要となる実験室設備の構築、整備に意欲を擁すること。 - 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有すること。 < 変更の範囲 : 機構が定める業務の範囲 >
--	---

10.	目標設定	自身の専門分野に閉じることなく様々なプロジェクトの推進において重要な貢献を果たすことで、広く宇宙科学にとって必要な人材になることが求められます。このことを踏まえ、自ら設定する目標を提出書類「(5) 今後の研究計画」に記載して下さい。 太陽系科学研究系研究主幹は、採用後 5 年程度を目処に総括的な実績を確認した上で以降のキャリアパスを共に考えます。
11.	待遇	(1) 給与 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。 (2) 勤務時間 ・勤務は、原則として、専門業務型裁量労働制を適用する。 ・勤務時間は、始業午前 9 時 30 分～終業午後 5 時 45 分を基本とする。休憩時間は、1 日の労働時間が 6 時間を超える場合は 45 分、8 時間を超える場合は 1 時間とする。なお、裁量労働制適用者は、上記に関わらず、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 45 分とする。 ・業務の都合により所定労働時間外勤務を命じることがある。 (3) 休日 完全週休 2 日制（日曜日、土曜日）、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）、その他機構が必要と認めた場合に定める日等 (4) 休暇 年次有給休暇、特別休暇（分べん、忌引、結婚、ワークライフバランス（WLB）等）、子の看護休暇、介護休業、育児休業等 (5) 定年 65 歳定年制 (6) 保有・借上宿舎の貸与 業務の必要性、個別の事情及び空席状況により独身用または世帯用を用意（ただし、同一の宿舎に継続して入居できる期間は 7 年を限度とする）、又は機構の規定により住居手当を支給。 (7) 社会保険 各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険等）
12.	研究費	毎年度の予算状況に応じて決定される。（FY2025 実績 教授 80 万円、准教授 80 万円、助教 40 万円）
13.	応募資格	博士号を有すること（取得見込みの者を含む）。
14.	提出書類	(1) 履歴書 (2) 研究歴およびその概要 (3) 論文リスト（DOI を記載のこと） (4) 外部資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明

		記すること) (5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む） (6) セクハラ・性暴力等を含む過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分等にかかる申告（様式任意、(1)への記載でも可。該当の有無及び該当有の場合はその内容） (7) 本人について意見を述べることができる方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス） (8) 主要論文の別刷り5編以内（査読付き学会誌に掲載されたものに限る）
15.	提出方法	【アップロード先】 https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1770856675 ・提出書類はすべて PDF 形式で提出すること。 ・提出書類(2)～(6)は一つの PDF にまとめること。 ・郵送または持参での提出は、原則として受理できません。
16.	応募締切	2026 年 4 月 16 日正午（日本時間） 必着 ※Web 入力および全ての必要書類提出についての締切です。
17.	選考方法	選考は、宇宙科学運営協議会※にて行います。まず書類選考を実施し、書類選考を通過した方に面接をお願いする予定です。ただし、変更となる場合があります。 ※https://www.isas.jaxa.jp/about/organization/committee.html
18.	問い合わせ先	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 太陽系科学研究系研究主幹 齋藤義文 教授 Email: saito.yoshifumi [at] jaxa.jp ただし、「15. 提出方法」に関しては下記へお問い合わせください。 科学推進部人事担当 E-mail: ISAS-JINJI[at]ml.jaxa.jp ※メールアドレスの[at]は@に置き換えてください。
19.	募集者名称	宇宙航空研究開発機構（JAXA）
20.	その他	・提供された個人情報については、採用選考以外の目的には利用いたしません。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報について責任を持って破棄・消去いたします。 ・外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施のため、特定類型に関する申告書の提出が必要です。 申告内容に応じ、適正な業務遂行のために必要な兼業範囲の調整等

		の対応をとることがあります。 ・その他、教育職採用ページ※に記載の事項もございますので、こちらもよくご確認のうえ、ご応募ください。 ※https://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html
--	--	--